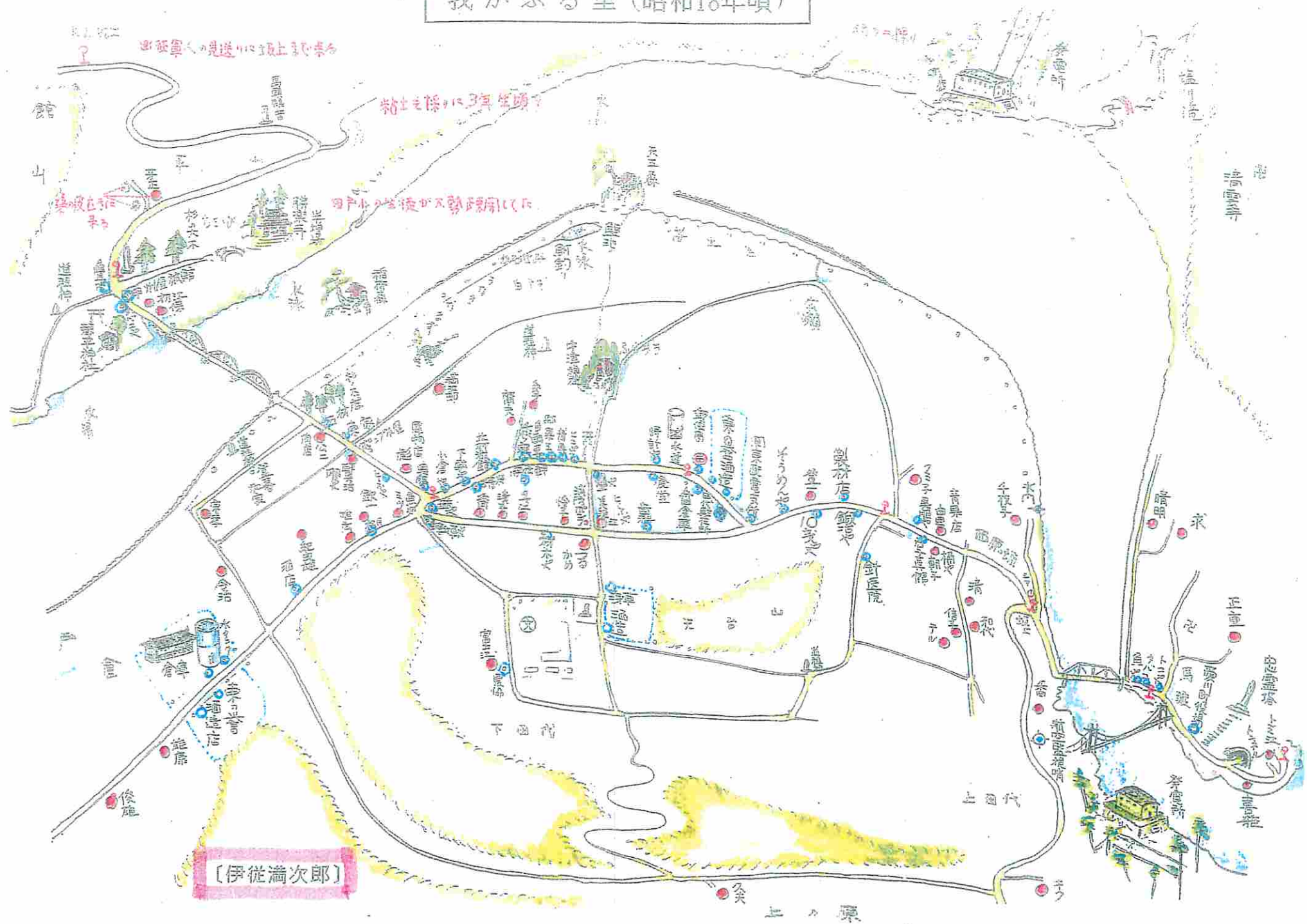
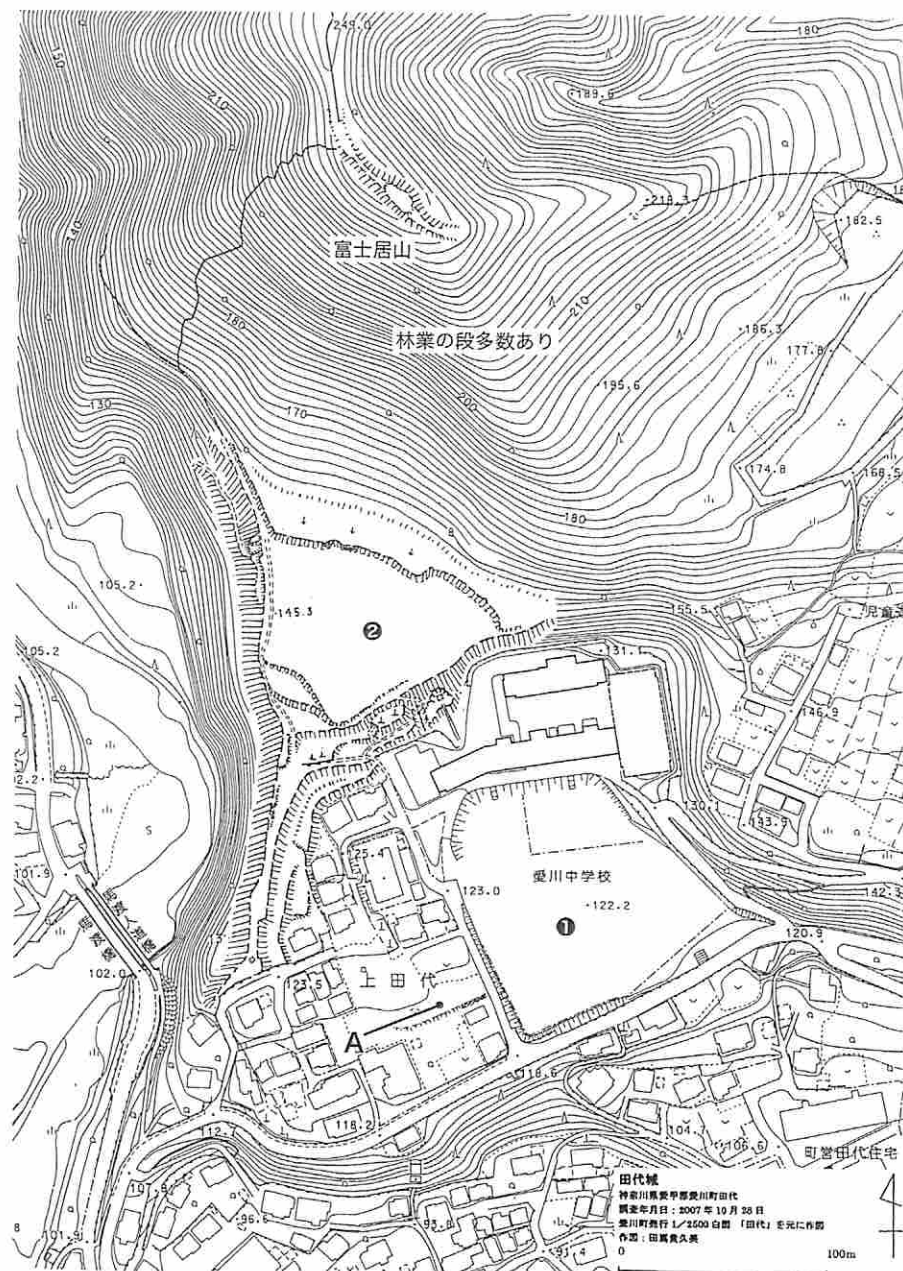


我がふる里（昭和18年頃）





城というより、屋敷が

46 田代城

【解説】 内藤一族の秀勝・秀行二代の居城とされ、細野城と同様に三増峠の戦いで武田信玄に落とされたと伝える。後北条勢は背後の富士居山に布陣したというが、伝承の域を出ない。

愛川中学校付近が城跡と伝わり、

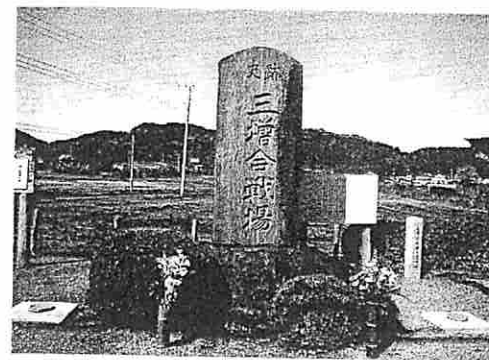
城の鎮守という八幡社と湧水が北辺に残る。周囲は雑木林・耕地・宅地等になっていて、曲輪や石塁、虎口のように見えるところもあるが、明確な城郭遺構とは判断できない。富士居山にも城郭遺構は見あたらない。

この地を内藤氏が知行していたことは確かで、仕置場、うまや等の地名、立地から類推すると、城ではなく屋敷地として見たほうがよいだろう。

『ワンポイント』 学校や民家の敷地に入り込まないように注意したい。富士居山の上からは対岸の細野城をよく見下ろせるし、付近には三増峠の戦いの関連史跡も点在する。

〔田島〕

※中津川沿いの駐車場が利用できる。



三増合戦場の記念碑

